

情報かわら版

第2回授業研究会報告号

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 青木あゆ子（川崎市立旭町小学校）
令和3年11月
担当 上丸子小学校 湯浅哲雄

2年 国語科

「せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう」
～馬のおもちの作り方 おもちの作り方をせつめいしよう～

「学習過程を意識した授業計画」と「Jamboardの活用した協働的な学び」



令和3年11月10日（水）川崎市立大島小学校にて第2回授業研究会が行われました。授業者は浜崎俊治先生。2年国語科「せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう」の単元で、文章の構成を考える学習場面でした。

授業では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」といった用語を、「めあて」「あつめる」「かんがえる」「くらべる」「まとめ」と発達段階に合わせた言葉にして、子どもたちに学習過程を意識させ、授業が進められていました。「かんがえる」「くらべる」場面では、GIGA端末が使用されました。Jamboardの付箋機能を活用して、文章の順序を意識して並び替えたり、付け加えたりする児童の姿が見られました。

研究協議では...

授業後は、授業者、情報教育研究会研究部長、情報・視聴覚センター指導主事による対談が行われました。対談では、発達段階における端末指導などが話題となりました。Jamboardの活用では、1枚のボードを全員で共有するよりも、一人1枚で活用することで、一人一人が安心して取り組むことができたという話がありました。



GIGAスクールにおけるICT活用



情報・視聴覚センター 福山創指導主事より指導・講評をいただきました。「+ICTから×ICTへ」というテーマでは、目指す像から逆算して今すべきと考えられるICT活用を学習場に組み込むことの大切さをお話いただきました。「ICTをただ使うだけでは効果が小さい」というテーマでは、学習活動の質をより向上させるために、ICT活用と同時に「見方・考え方」「学習形態」を工夫することがコツであることを教えていただきました。